

20期同期会

20期 松下和隆

●開催日 2025年10月24日(金)～25日(土)

●開催地 能登

●日 程

【10/24】金沢駅(集合) → 輪島市南志見(なじみ)地区(昼食) → 輪島市黒島天領区(見学) → いこいの村能登半島(宿泊、懇親会)

【10/25】いこいの村能登半島(出発) → 金沢城址公園(散策) → 金沢大学(角間キャンパス部室) → 上荒屋寿司龍(昼食) → 金沢駅(解散)

●参加者(8名)

谷井(窪田)陽呂子、杉口安弘、高田泰夫、久富象二、広瀬隆、深田進、藤原栄男、松下和隆

●集合写真(いこいの村能登半島、2025.10/24撮影)



(左から) 松下、広瀬、高田、久富、谷井(窪田)、藤原、杉口、深田

卒業してから半世紀。20期の同期会は、ここ「いこいの村能登半島」にて2回目の開催とあいなった。ここに至るには、古希を目前にして要職を辞した久富氏(当時の主将)の奮起が大きい。また、今も三百名山をガンガン登っている深田氏のパワーサポートもまた大である。彼等二人は多忙な折も、昨年1月に発生した能登半島地震の復興ボランティアに従事した経緯もあり、ささやかなカンパとの思いも込め、この度の同期会は「能登」で開催することとした。

20期の部員数は20名。そのうち8名が集まった。半世紀の月日を経て集まつた面々はみんなもうすっかり…なのであるが、中身はまったく昔のまんま。あつという間に打ち解けた。宿での夜は、かつてのテントの中と変わらない。とにかく笑い、ダラ話に花が咲く。「こんなに笑ったのは、わたし何年ぶりかしら」「次回は関東でやろうぜ」などなど…

宴は深夜にまで及び、みんなの心は青春時代へと戻っていく。



地震の被災跡(輪島市河井町 2025.10/24撮影)

一日目は、今も復興工事が絶え間なく続く「のと里山海道」を車で走り輪島へと向かった。快適なドライブとはまだいかない。道は波打ち、他県ナンバーのダンプもひっきりなしに走る。車線変更も何度か余儀なくさせられた。道の完全復旧はまだまだ先という感じだ。

輪島では地震の爪痕が未だ痛々しく残っている(写真)。復興にはまだかなりの時間を要するだろう。ただ地元有志による復興プロジェクト(奥能登元気プロジェクト)なども徐々に立ち上がっており、南志見地区での昼食会でリーダーの奥田さんからそのお話を聞けたのは大変良い体験だった。



金沢市寿司龍にて(左から) 松下、藤原、広瀬、黒崎、久富、

深田、高田、谷井(窪田)、杉口、ご主人(2025.10/25撮影)

二日目は、金沢に戻り金沢城址公園を観光(というより旧部室の「発掘調査」だった)。その後、角間キャンパスに移動しワンゲル部室にて黒崎氏と合流。現役は残念ながら不在だったが、旧PW記録などのお宝に巡り合え、皆で歓喜した。最後は寿司ランチで親睦(写真)。次回はもっと多くの仲間と会いたいものだね…